

農作物の生育概況等について

1 気象経過

4月は、平均気温が平年並から高く、降水量は平年並から多く、日照時間は多くなり、4月10日、11日、15日、27日に強い降霜があった。5月上旬から中旬は、平均気温はやや高く経過し、中旬以降は日照時間がやや少なく経過した。5月25～26日には、最上地域および庄内地域の一部で降雹が確認されている。

2 主な農作物の生育状況

(1) 水 稲

- ・ 田植え作業は、始期5月13日（平年比±0日）、盛期5月18日（平年比±0日）、終期5月25日となった（平年比-1日）。

(2) 果 樹

- ・ 4月10日、11日、15日、27日に降霜があり、さくらんぼの「佐藤錦」では20～60%程度、「紅秀峰」では40～80%程度、りんご「ふじ」の中心花では70%程度の雌しべの枯死被害がみられている。また、庄内地域の一部では柿、置賜の一部ではぶどうで芽の枯死が発生した。
- ・ さくらんぼ作柄調査（5月25日実施）の結果、本年の予想収穫量を9,500t（前年比73%、平年比68%）、作柄を「平年より少ない」と予想した。
- ・ 「佐藤錦」の収穫盛期は、6月20日～25日頃（平年より2～3日、前年より5日程度早い）と予想される。
- ・ ハウスさくらんぼは、現在の品質は概ね良好で、価格は前年より高くなっている。

(3) 野 菜

- ・ きゅうりのハウス栽培は、収穫盛期であり、品質は良好に経過している。
- ・ 露地すいか、露地メロンの定植は、ほぼ終了した（平年並み）。生育は概ね良好であり、交配作業が順次始まっている。
- ・ 露地アスパラガスの春芽の収穫は5月下旬までとなり、6月上旬からは順次立茎作業に入る。
- ・ 最上地域では5月25日の降雹により、にらやアスパラガスで被害が出ている。被害程度に応じて刈り捨てや調整・選別の徹底で対応している。

(4) 花 き

- ・ 周年栽培のばらやアルストロメリアは、継続出荷され、品質は良好である。
- ・ ダリアの露地栽培は、定植作業が5月下旬から行われている。

3 農作業安全、新型コロナウイルス感染症対策

〈農作業安全〉機械作業や高所作業が増えることから、農作業事故防止のための基本的な対策を再度確認し、徹底する。

〈感染症対策〉体調チェックや3密（密閉、密集、密接）防止など、新型コロナウイルス感染対策を徹底する。

4 当面の主な技術対策

〈水 稲〉適正な水管理による初期生育促進の徹底

〈果 樹〉さくらんぼの適正な着色管理・適期収穫・厳選出荷の徹底、ぶどう大粒種のジベレリン適期処理・房づくり、りんご黒星病等の防除の徹底

〈野 菜〉ハウス・露地トンネル果菜類（すいか、メロン等）のきめ細かな温度管理の徹底

〈花 き〉露地花きの排水対策と、施設花きの各品目特性に応じた温度管理の徹底を図る。